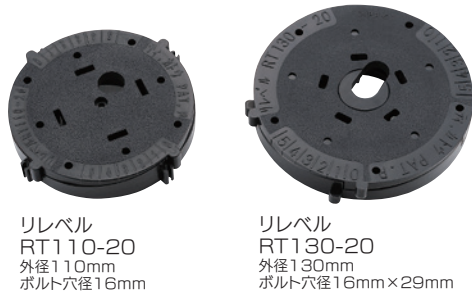


レベル調整自在の土台用パッキン



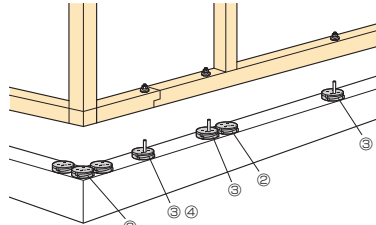
リレベル
RT110-20
外径110mm
ボルト穴径16mm

リレベル
RT130-20
外径130mm
ボルト穴径16mm×29mm

■リレベル取付図

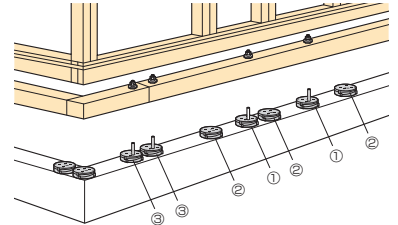
- リレベルは、基礎の外回りも中回りも使用してください。
- ホールダウンをお使いの箇所は必ず2個以上使用してください。

在来軸組工法



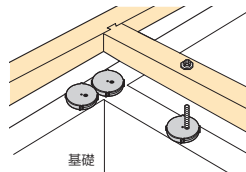
- ①間隔は概ね3尺ピッチ
- ②柱の下や大引など荷重が集中する部分
- ③アンカーボルト部分
- ④土台の継手に掛かる部分

2×4枠組壁工法

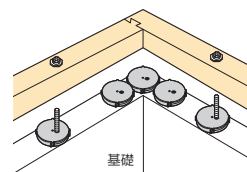


- ①間隔は概ね3尺ピッチ (1m以内)
- ②2本以上スタッドがある部分や構造用合板の継ぎ目部分
- ③アンカーボルト部分
- ④土台の継手に掛かる部分

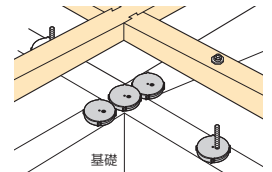
T字の場合



L字の場合



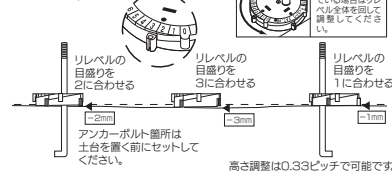
十字の場合



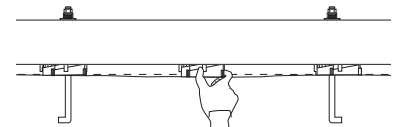
■リレベル高さ調整方法

- 木材のめり込み等を考慮してリレベル1個につき15kN以内の荷重で使用してください。
- 換気量の確保のため4m以内に概ね20個以内で使用してください。(4mで3000cm²の換気面積が必要です)

- ①基礎天端を水平にする場合
(基礎の一番高い場所を基準にしてください)



- ②隙間が生じた場合リレベルの調整爪を回して隙間を埋める



- ③メンテナンスで隙間が生じている場合も②と同じように調整爪を回して隙間を埋めてください。

用途・特徴

- 1.リレベルは、床換気の為、基礎と土台の間に設置する製品です。
- 2.リレベルを廻すだけで基礎天端のレベル調整が出来ます。「高さ20～25mm(調整板不要)高さ目盛付」
- 3.丸型なので空気の流れが良く、またアンカーボルト用の穴が偏芯しているのでアンカーボルトがズレている場合でも、リレベル全体を廻して調整出来ます。

使用方法

- 1.リレベルは、基礎の外回り・中回りに概ね3尺ピッチで、土台を敷く前にセットしてください。
- 2.土台敷き後、隙間が生じた場合はリレベルの調整用爪を廻して隙間を埋めてください。
※25mm以上の調整が必要な場合は、別途ベースを使用してください。(RT110-20用ベースのみ厚さ5mm)

商 品 名	リレベル RT110-20/RT130-20
材 質	ポリプロピレン
入 数	RT110-20:66個/ケース・RT130-20:60個/ケース